

## 今春、学区単位の学童保育実施なるか

町長…年度途中でも設置したいと考えている



青木 久子 議員



友だちと勉強楽しいな (遊心館)

**学童保育所設置について**

急務な課題です。教育委員会が小学校統合3校案を示したときには、保護者から学童保育の要望意見が多く出た。子どもたちも放課後には、友達と遊べる場所の確保を望んでいました。地域から区長名で陳情書も出されている。議会からも12月に要望書も提出している。誰もが開校同時開設と想っていた。新設される小学校3校と同時に学童保育所を学区単位の設置の準備は万全か。

昨年6月定例会において「全課横断の考えで早急に検討するよう指示している。財政上の問題解決と地域の保護者の協力が必要。時間がながいながらも」と答弁しているが、その後どうなったのか。



廃校の利活用を待つ旧駒籠小

町長 放課後児童クラブ設置の要望があることは承知している。4月からの廃校の利活用については、内部での検討研究の段階です。施設の中には老朽化や耐震性の問題があり解体せざるを得ない校舎や体育館も存在する。まもなく新年度に入ることから廃校となる校舎を活用した児童放課後クラブの設置は新小学校開校と同時に不可能な状況です。

再質問 大変残念です。廃校後の取り壊し予定の不安な校舎への設置など考えず、場所は北小、南小の空き教室を考えてはどうか。今後どう進めるのか。

町長 健康福祉課が中心となり、町が設置場所や経費などを提示した上で保護者に参加の有無を問うアンケートを実施し、国や県とも協議しながら条件が整えば23年度途中でも実施したいと考えている。



若者タウン開発予定の駅東



関 幸悦 議員

町長 昨年の国勢調査までのこの5年間で633人(7.51%)の減少をかけた。人口減少に歯止めをかけるためには、若者がこの町に定着することが不可欠と思う。基本構想のなかで「駅東地区若者タウンの開発(宅地造成・子育て住宅建設)を掲げているし、平成23年度

長期展望に立っての第6次総合振興計画(23年〜32年)の策定が終了し提示されたが、活気あふれる町づくりには人口増対策が不可欠で最優先すべき課題と思う。若者向け宅地造成をどう進めていく考えか。

人口増対策で若者向け宅地造成を

町長：基本構想に駅東地区若者タウンの開発を掲げている

活気あふれる町づくりを第6次総合振興計画にどう活かす

再質問 構想のなかでは豊富な観光資源の見直しと発掘を推進する考えだが、当町においては年間のイベントとして花火大会・新そば祭り・雪祭り・雑祭りに町外から多くの観光客が来客している。姉妹都市を締結するなどして交流人口、特産品など物流の拡大をすべきではないか。

町長 当町では多くの町民の方や団体とも協議し、交流人口を拡大し経済を活性化することを目的として、各種観光イベント事業を展開してきた。その実施の状況や課題などを反省し、さらに良い企画として整備する検討

再質問 構想のなかでは、豊富な観光資源の見直しと発掘を推進する考えだが、当町においては年間のイベントとして花火大会・新そば祭り・雪祭り・雑祭りに町外から多くの観光客が来客している。姉妹都市を締結するなどして交流人口、特産品など物流の拡大をすべきではないか。

再質問 農林業の振興対策で農地と森林の荒廃整備はどのように考えているのか。

町長 耕作されている水田や畑がこれ以上放棄されないように、農地を守る「農用地利用改善団体」を支援し、緑環境税を活用して里山の民有林を対象に森林整備をして行く。



特産品を販売している駅販店